

防滑性

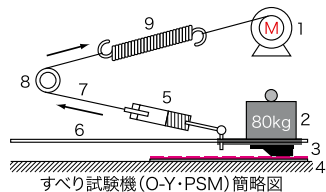
■ バランス良い適度な防滑性が転倒事故を防ぎます。

床材の安全性を考える上で防滑性は一つの重要な要素となります。

滑り過ぎる床はもちろんのこと、極端に滑りにくい床もつまずきや転倒の危険性があり、空間に応じて適度な防滑性が要求されます。

■ 試験方法……JIS A 1454 高分子系張り床材試験方法「滑り性試験」

東京工業大学の小野研究所が開発した滑り試験機によるOY-PULL法にて試験を行っています。実際の歩行に最も即している試験方法と言われ、滑り片に実際に使用する履物の底を貼り付け、80kgfの荷重をのせ、18°の角度で引っ張った時に得られる最大引張り荷重を測定し、その値を載荷重量(80kg)で除した値(C.S.R値)をすべり抵抗の評価指数としました。



1. 定速モーター
2. 重錘(鉛直荷重用)
3. 滑り片台座
4. 試験体(測定対象床)
5. 荷重変換器
6. ガイドレール
7. ワイヤー
8. 滑車
9. 引っ張り荷重速度調整器

■ 床材のすべり最適値および許容範囲(下足床)

床材のすべり最適値および許容範囲(下足床)				(C.S.R値)	
想定履物	すべり測定結果	商品名		すべる ← 0.4 0.6 C.S.R 0.8 1.0 → すべらない	
紳士靴 (合成ゴム底)	○ 最適値	動作	歩行	0.6	
	◆ 許容範囲		駆け出し	0.7	
			急停止	0.6	
			方向転換	0.5	
	◆ 乾燥状態 ◆ 水+ダスト	ナースিংフロア		0.51	0.77
		ナースিংフロアV		0.52	0.84
		SKフロア		0.47	0.80
		メディウオーク		0.52	0.73
		ストロング		0.51	0.79
		オデオンPUR		0.49	0.81
		グラニット		0.48	0.84
		メガリット		0.47	0.87
		ニューセーフティ(プレーン)		0.50	0.81
		ニューセーフティ(オーク・コンクリート)		0.58	0.93
		オフフロア		0.49	0.72
		プレーンエンボス プレーン		0.53	0.66
		エスリュウム・リアル		0.55	0.94
		エスリュウム ミスト、ルーミー、カルド		0.57	0.87
		エスリュウム ウィーブ		0.54	0.82
		エスリュウム マーブル		0.57	0.80
		消臭レストリュウム エルム		0.55	0.85
		消臭レストリュウム メルトストーン、グランコンク、ミスト柄		0.54	0.81
		PX-201～203		0.61	0.93
		PX-210～212		0.55	0.76
		PX-220・221		0.61	0.93
		PX-230・231		0.61	0.93
		PX-530～532		0.58	0.77
		PX-550		0.57	0.80
		PX-570～572		0.58	0.88
		PX-590・591		0.54	0.72
		PX-610～613		0.65	0.86
		PX-751～753		0.51	0.72
		PX-801～804		0.54	0.77
		PX-810～813		0.61	0.85
		PX-815・816		0.61	0.85
		PX-820～822		0.61	0.85
		PX-840～842		0.61	0.85
		PX-870・871		0.61	0.85
		PX-881～883		0.54	0.77
		PX-951～953		0.64	0.79
		PM-981～983		0.53	0.79
		PX-5701～5724		0.58	0.88
		PX-8601～8694		0.61	0.85
		PX-8901～8934		0.63	0.79
		フロテックス		0.67	0.85
		フロアタイル		0.51	0.86
		キラリタ		0.43	0.73
		カーペットタイル(NT-700 F-eco)		0.63	0.75

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。品番により数値が異なる場合があります。

■ 浴室床のすべり最適値および許容範囲(C.S.R-B)

素足での滑り性を想定した試験で、C.S.R値と同じ試験をすべり片を変更し「水+ダスト」と「0.3%石鹸水」の状態にて測定します。

想定履物	すべり測定結果	商品名	すべる ← 0.8 0.9 C.S.R-B 1.0 1.1 → すべらない
素足 (ゴム製すべり片)	◆ 0.3%石鹸水	オフフロア	1.07 ◆ 1.07
	◆ 水+ダスト	プレーンエンボス浴室使用可能タイプ	1.06 ◆ 1.09
		※参考 一般ビニル床シート	0.96 ◆ 1.01

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。

■ 数値の判断基準は？

優れた防滑性を持つ床材の条件とは、乾燥し清掃された状態と、水や土砂が付着した状態で防滑性能の差が小さいこと、つまり、どのような状況下でも滑りやすさ、つまずきやすさの変化が小さいことです。